

「タンブル付きヘンプストラップ」と「勾玉3cm」を使用した作成例

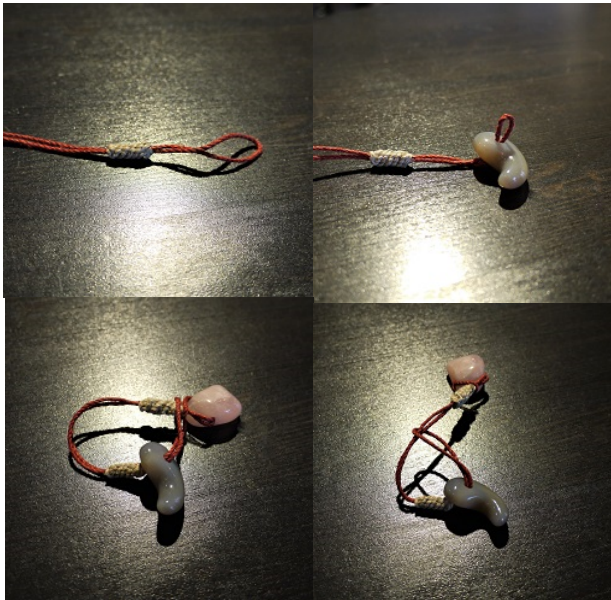
使用商品：「タンブル付きヘンプストラップ」と「勾玉3cm」

「タンブル付きヘンプストラップ」の構造について

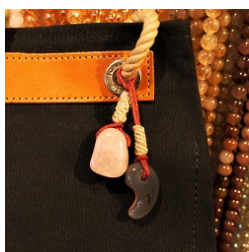


芯となるヘンプひもは、タンブル側はどちらか1本が動き、輪の側（何もついていない側）は両方動きます。

- ①タンブルがついていない輪を、「勾玉3cm」の穴に通します。②輪を通しきったら、勾玉のすぐ上にあるヘンプのさらに、逆側についているタンブルもその輪に通します。編み込み部分をスライドさせ位置を調節します。



★鞆などにつける場合、以下のように普通に結んだり、ヘンプの間を通したりでご使用いただけます。付けた時に両端の石がずれるようにしていただくと、石同士のぶつかり等を軽減できるかと思います。



◆タンブルの取り外し方

芯ひものタンブル側は2本のうちどちらか1本が動きますので、ひもを緩め、タンブルをとりはずすことができます。

